

365日リハビリの効果

～ FIM・SIAS・在院日数の
変化と満足度について～

病棟リハビリ 作業療法課

はじめに

- ・ 365日リハビリの実施目的
家族指導、介護指導日
評価日 (FIM・SIASなど)
- ・ 365日リハビリ導入の前後1カ月での変化
一人の患者に対して…
6月 = 195単位 (65時間)
7月 = 213.9単位 (71.3時間)
18.9単位 (6.3時間)のアップ

365日リハビリ開始前後の4ヶ月間に入退院した患者のFIMと在院日数の変化を比較

**365日リハビリ開始後、SIASを実施した患者のSIASの点数と在院日数
SIASとFIMの変化について比較**

365日リハビリに対するアンケートによる満足度の調査

FIMと在院日数の変化

・対象者

H20年3月～6月に入退院された患者(脳血管) 18人

H20年7月～10月に入退院された患者(脳血管) 12人

H20年3月～6月に入退院された患者(運動器) 17人

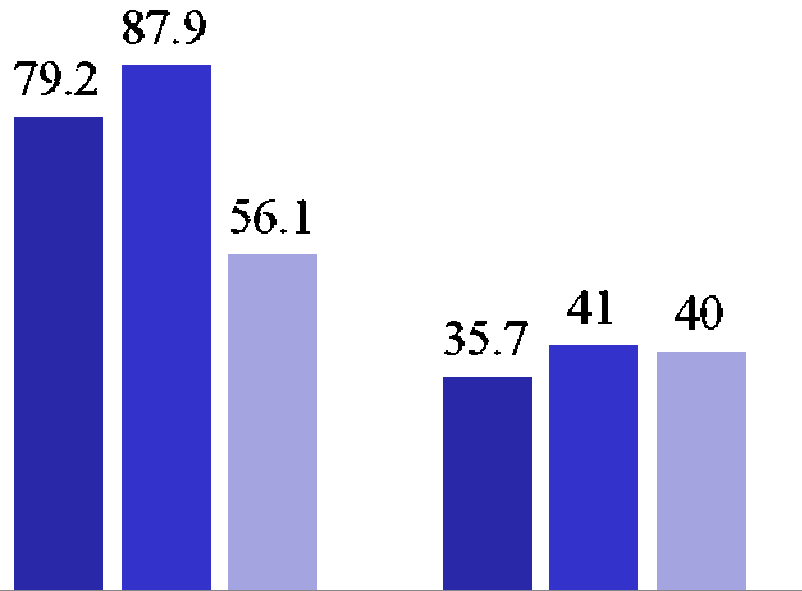
H20年7月～10月に入退院された患者(運動器) 21人

以上の4つの対象群にわけ、入院時と退院時のFIMの合計点数と在院日数を比較した

結果(脳血管グラフ)

365日リハ前

■ 平均 / 入院時 ■ 平均 / 退院時 ■ 平均 / 在院日数

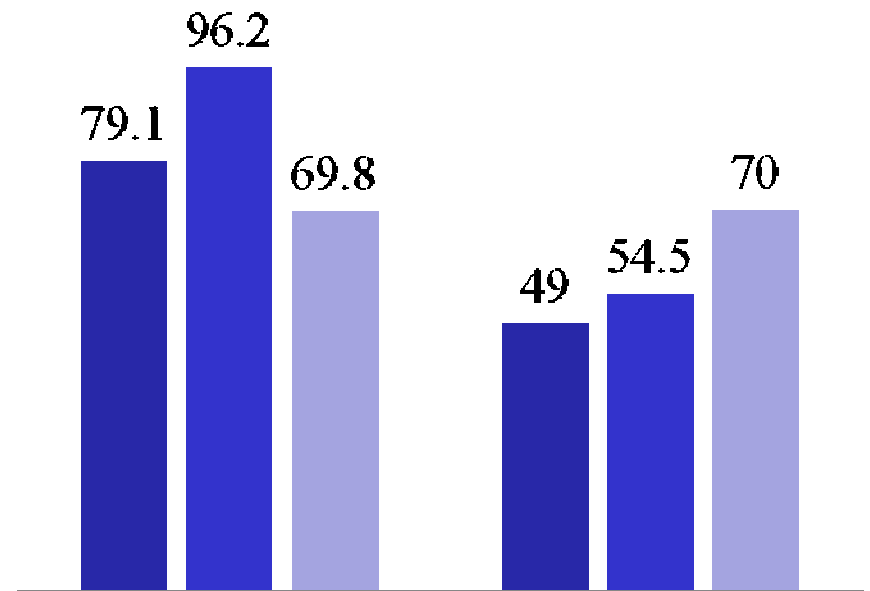


自宅

その他

365日リハ後

■ 平均 / 入院時 ■ 平均 / 退院時 ■ 平均 / 在院日数



自宅

その他

考察

FIMの点数増加の理由は、リハビリ提供時間の増加

日曜日もリハビリを実施したことで、より継続したリハビリが提供できた

在院日数も同様に増加しているため、一概に365日リハの効果とは言い難い

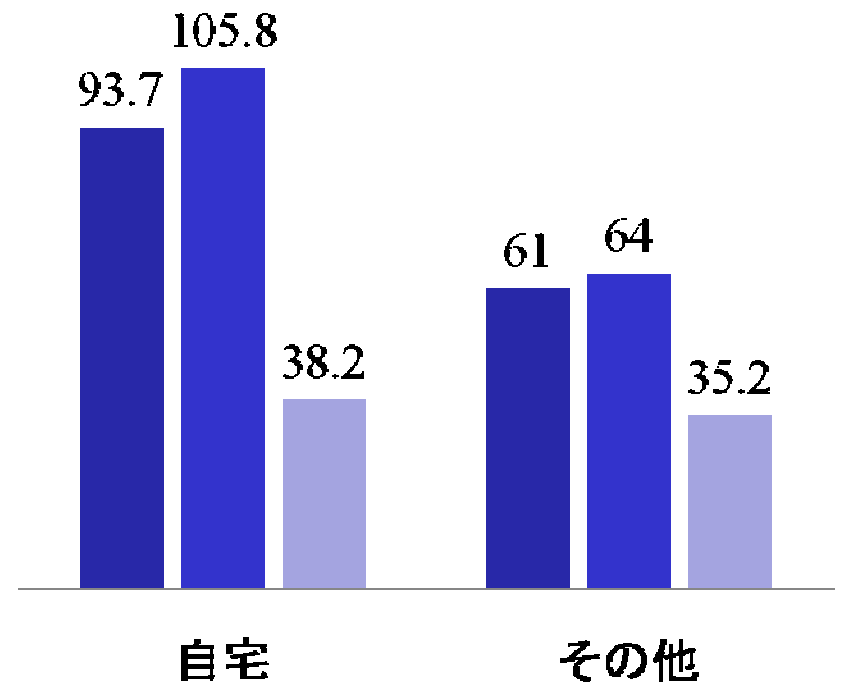
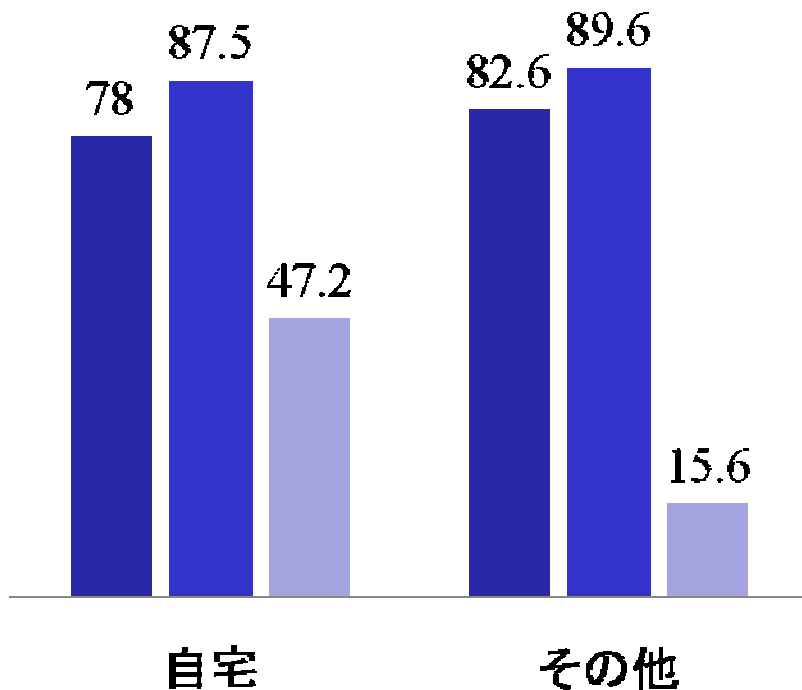
結果(運動器グラフ)

365日リハ前

365日リハ後

■ 平均/入院時 ■ 平均/退院時 ■ 平均/在院日数

■ 平均/入院時 ■ 平均/退院時 ■ 平均/在院日数



考察

FIMの点数増加の理由は、脳血管と同様であり、自宅復帰患者の在院日数短縮にも繋がったと考える

その他の在院日数延長は、365日リハ前の患者が3人しかいなかった。その内2人が圧迫骨折であり、施設から施設であったため在院日数が極端に短かった

そのため、365日リハ後の在院日数が増加した

S I A S (脳卒中機能評価法)

- ・機能障害の“多面性”に着目

- ・一つで9項目の評価が可能

運動機能	筋緊張	感覚機能	疼痛
関節可動域	体幹機能	視空間認知	
言語機能	非麻痺側機能		

- ・非麻痺側機能評価を有する

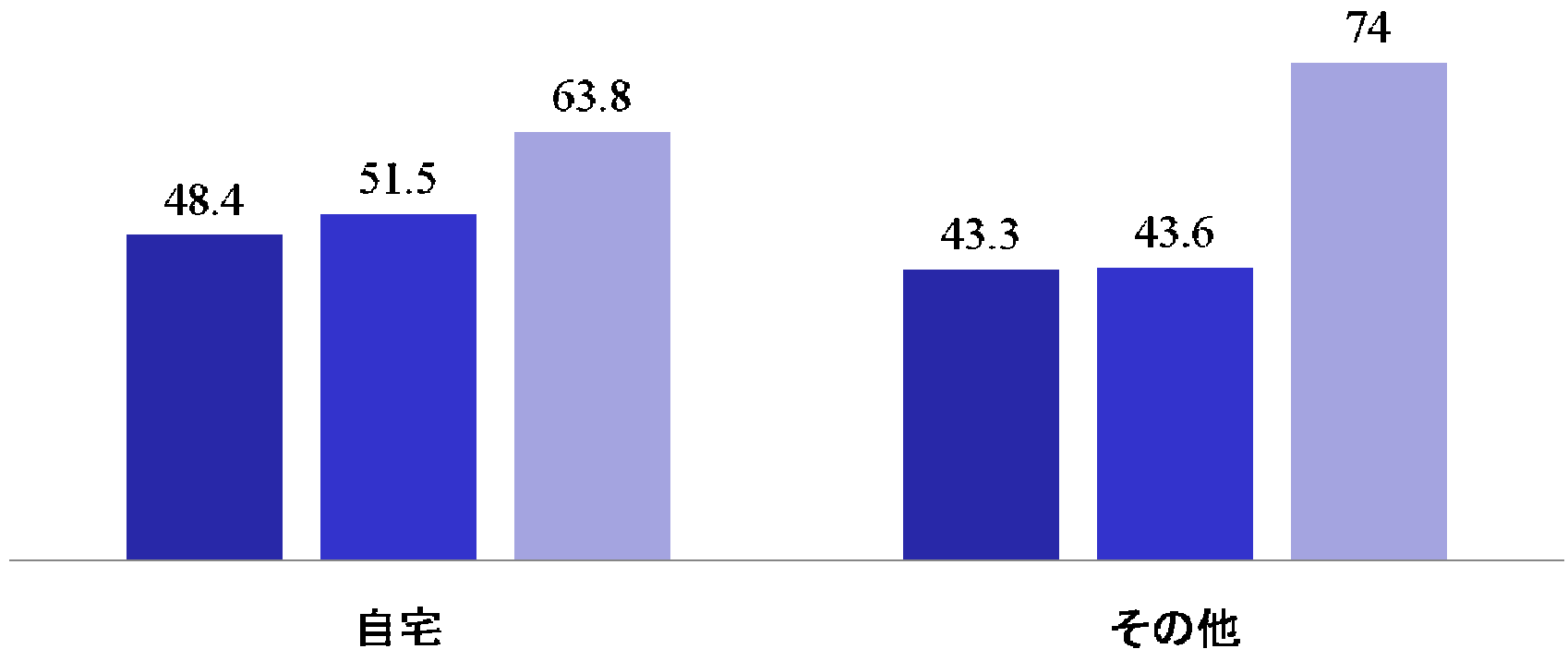
- ・10分程度で評価可能

SIASと在院日数

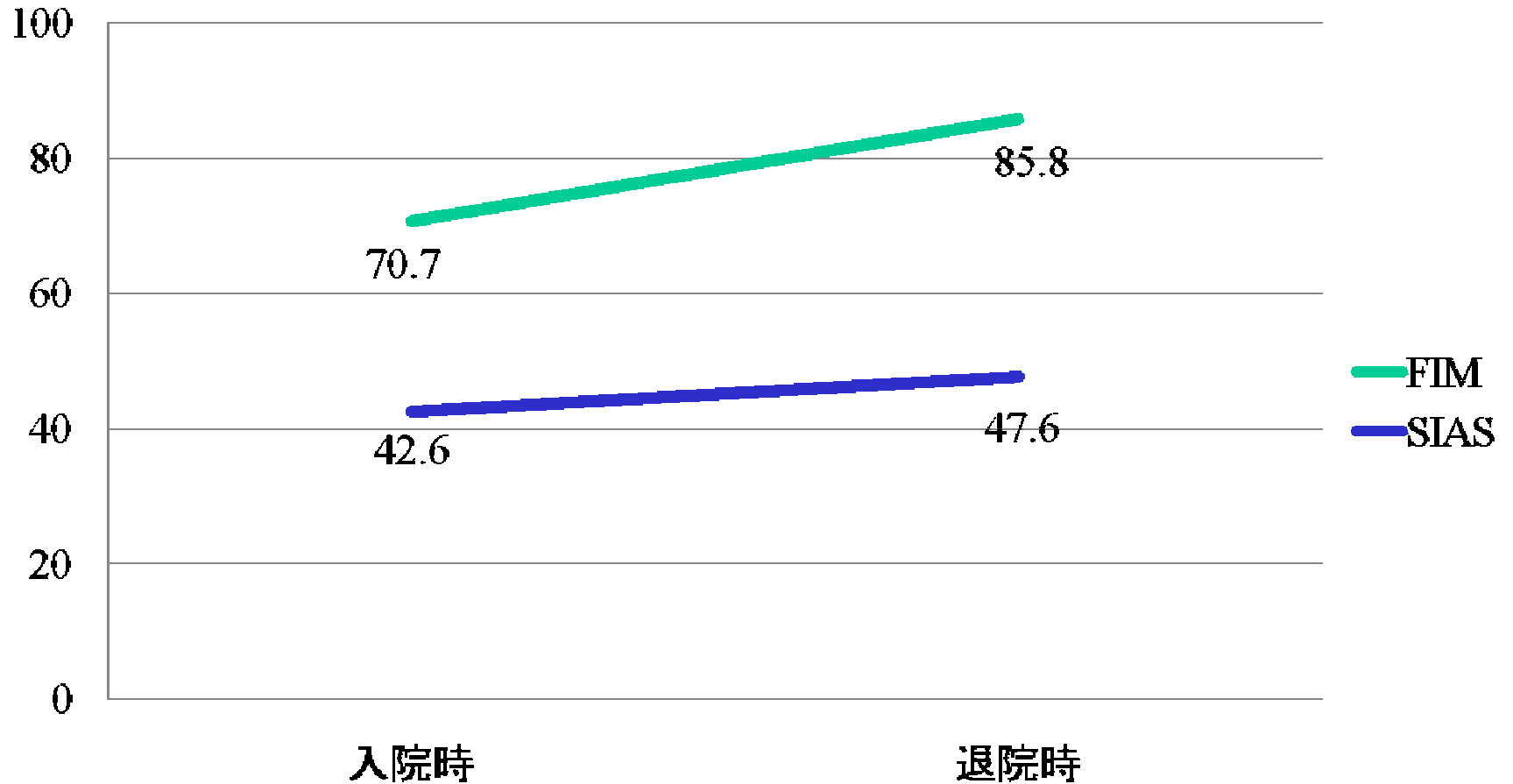
対象者：H20年7月～10月に入退院された患者(脳血管) 12人

SIAS

■ 平均/入院時 ■ 平均/退院時 ■ 平均/在院日数



SIASとFIMの変化の比較



考察

身体機能面 (SIAS) の向上が日常生活動作 (FIM) の点数に直結するとは限らない
身体機能面 (SIAS) とADL (FIM) の点数の
変化が乏しいケースでは、自宅復帰率が
低い傾向にある

退院時期の目安になるのでは！？

満足度アンケート

- ・日曜日にリハビリを行うことに対して、入院患者(家族)がどのように感じているか、入院時と退院時にアンケートを実施した

<アンケート内容>

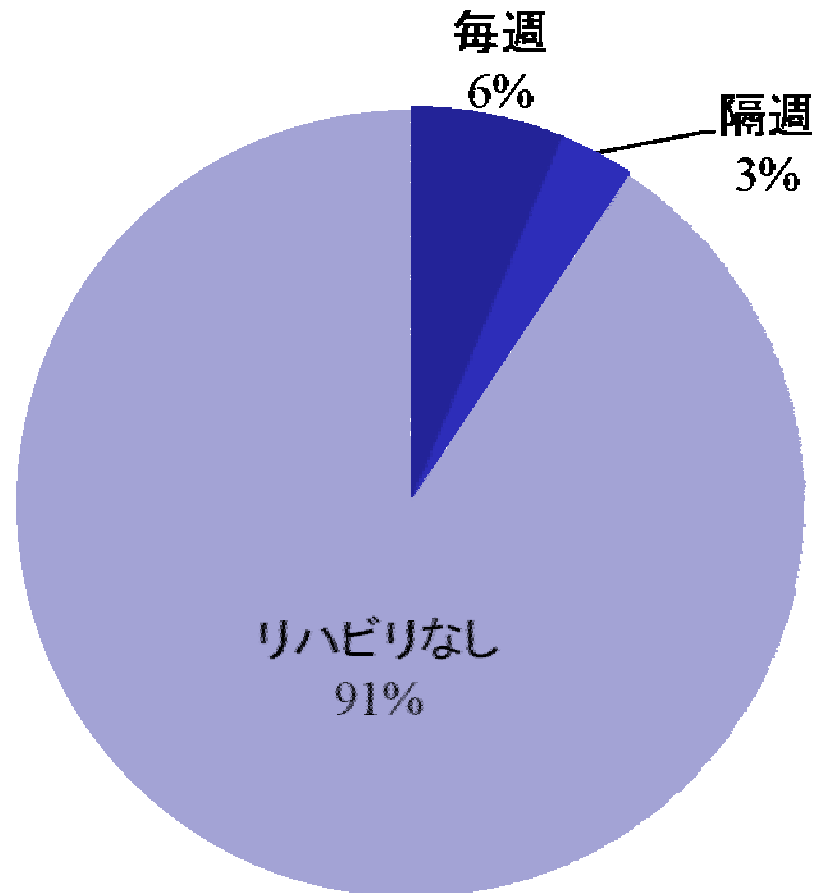
急性期病院でのリハビリの有無

日曜日リハビリへの意欲

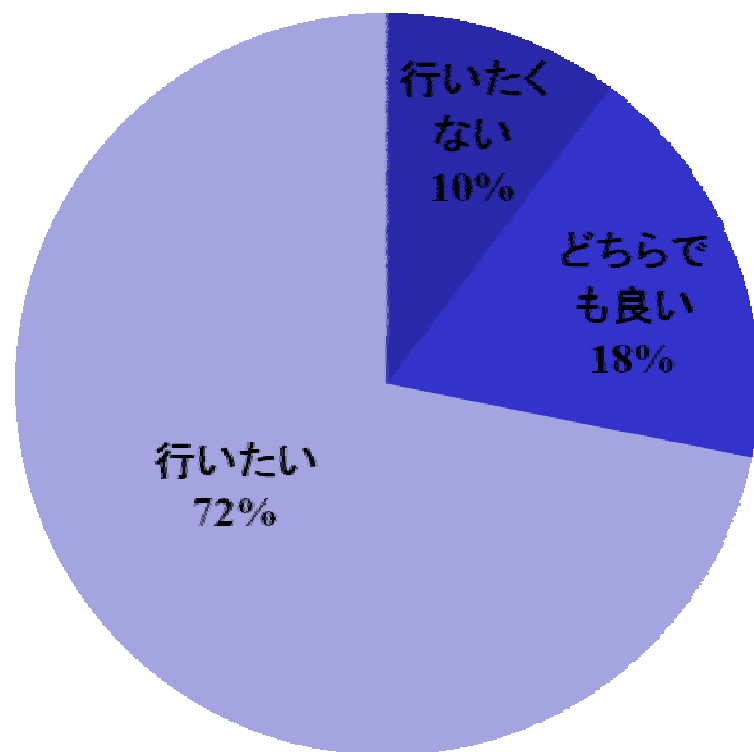
日曜日リハビリの効果について など

結果

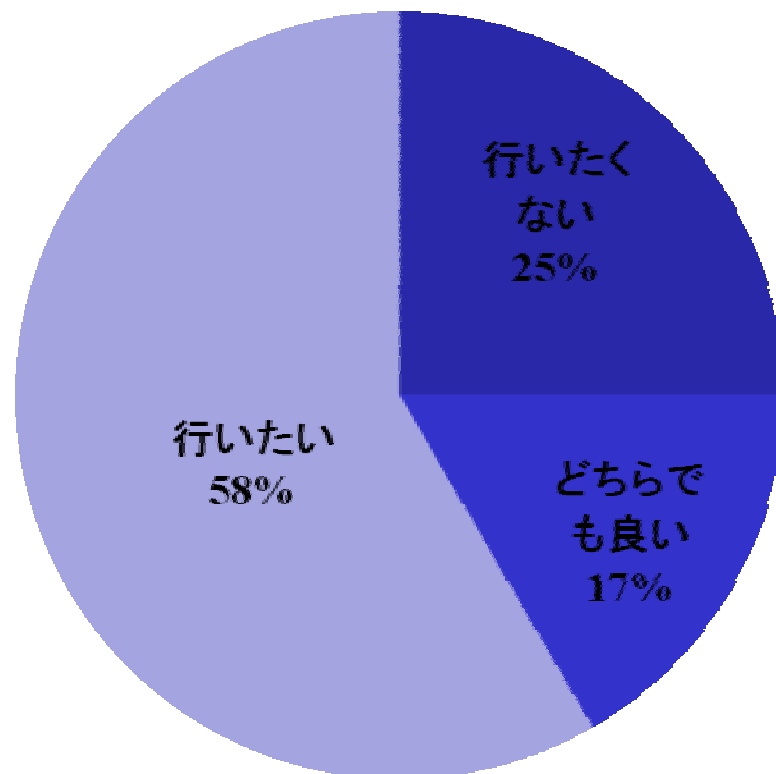
急性期病院でのリハビリの有無



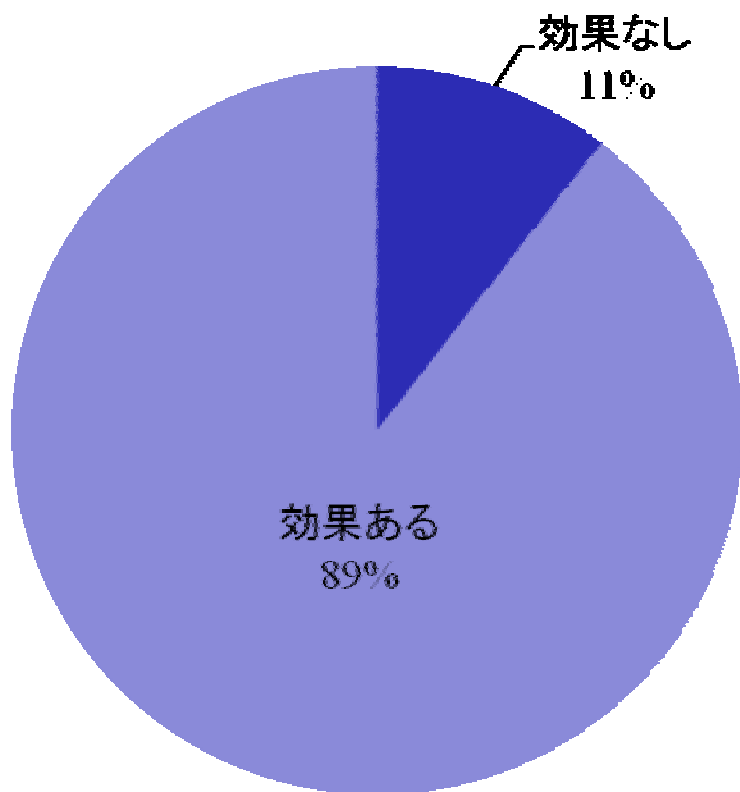
入院時リハビリに対する意欲



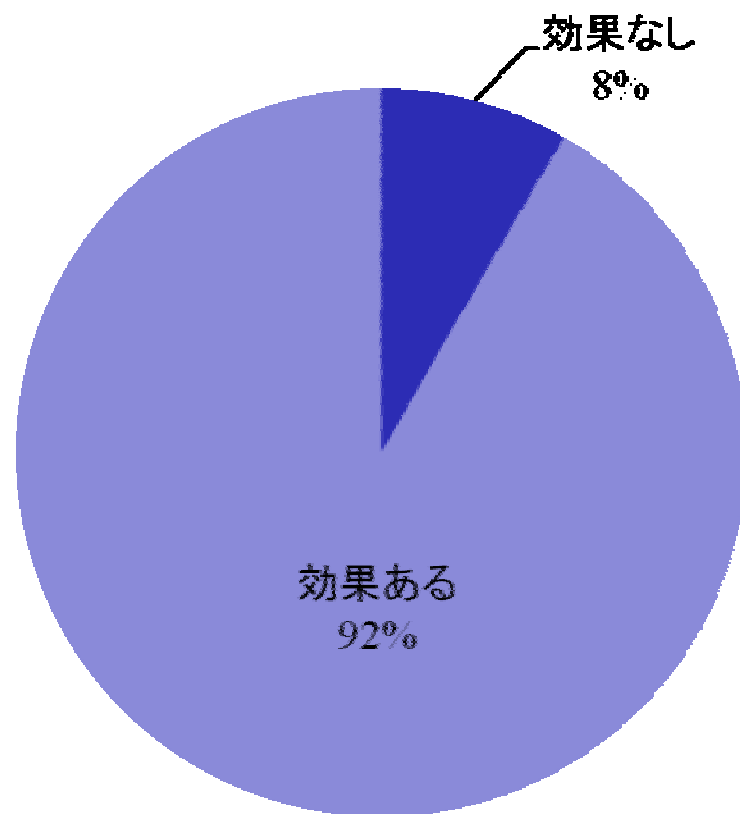
退院時リハビリに対する意欲



入院時リハビリの効果



退院時リハビリの効果



考察

- ・退院時の日曜日リハビリの意欲は、行いたくないと回答した患者が増加したが、効果はあると回答した患者も増加した

365日リハビリは効果あり！？

今後の課題

365日リハビリ後の患者数が少ないため
更なるデータ収集(FIM・SIAS)

在院日数延長の原因分析

SIASの点数の付け方に、スタッフ間で誤差があるため、統一方法の検討

日曜日を介護指導日としたが、期待通りの成果がなかったため、面会曜日や時間帯の把握・分析(面会票作成など)

ご清聴ありがとうございました